

## 編集後記

近年、AI、IoT、ビッグデータ等のICT技術は、目覚ましい進歩を遂げており、社会全体に、大きな変化をもたらしている。中でも、chatGPTなどの生成AIで、論文を作成することも可能で、近い将来は、Excel、Wordと同じように業務で普通に利用する時代が来ると言われている。数年後は、この技報も生成AIによって作成された記事が掲載されるかもしれない。それぞれの記事には個性があり、筆者の思いが感じられ、これも面白味の一つである。今後、生成AIの活用があっても、画一的な記事にならないことを願うばかりである。(川島委員)

カヤバ史料館で展示している【歴史と年表】パネルの更新にあたり、電子機器製品の歴史を辿ってみると、その時代の社会状況がよく伝わってくる。西陣織の直織装置に始まり四輪車向け電動パワーステアリング、電子制御サスペンションシステム、鉄道用制振装置といった製品をこれまで市場に送り出してきた。現在は100年に1度の変革期と言われており、そのトレンドとされる自動化、電動化などを手段として世界が直面する社会課題の達成が求められている。その施策は多種多様であり、カヤバにしかできない技術で明るく活気ある未来を描いた技報を皆で頑張っ綴っていきたいものである。(椛澤委員)

昨年、私が所属する(株)タカコは創立50周年を迎えた記念すべき年となった。ここまで、(株)タカコではアキシャルピストンポンプの内蔵部品であるピストンあるいは、小型ピストンポンプ、ソレノイドバルブの設計・製造などを通じて油圧業界に貢献してきた。これから先は地球温暖化の問題等で油圧に向けられる目が厳しいものになることが予測されるが、まだまだ油圧の良さはあらゆる方面で必要不可欠なものとなっており、この油圧の良さを社会に貢献できる製品として開発し、本技報を通じて全世界で紹介できればと考える。(河野委員)

## 編集委員

◎伊藤 隆	技術本部基盤技術研究所	梅田 禎典	HC事業本部技術統轄部
椛澤 亮一	技術本部基盤技術研究所	米川 典秀	HC事業本部技術統轄部
藤波 太郎	技術本部生産技術研究所	小林 弘孝	HC事業本部技術統轄部
周防 士朗	技術本部知的財産部	萩平 慎一	航空機器事業部技術部
天野 玄規	経営企画本部経営企画部	川島 茂	特装車両事業部熊谷工場技術部
太田 康洋	AC事業本部技術統轄部	久保 潔	カヤバモーターサイクルサスペンション(株)第二設計室
宮谷 修	AC事業本部技術統轄部	河野 義彦	(株)タカコ技術本部開発部
佐々木和弘	AC事業本部技術統轄部	○小畑 宏	技術本部技術企画部
野口 洋一	AC事業本部MD事業部	○大林 義博	技術本部技術企画部
齋藤 啓司	HC事業本部技術統轄部		

◎編集委員長

○編集事務局

HC事業本部：ハイドロリックコンポーネンツ事業本部

AC事業本部：オートモーティブコンポーネンツ事業本部

MD事業部：車載機器事業部

### カヤバ技報 第68号

〔禁無断転載〕 〔非売品〕

発行

2024年4月1日

編集発行人

カヤバ技報編集委員会

発行所

カヤバ株式会社

(2023年10月1日より、正式社名に

カヤバ株式会社を採用いたしました)

〒105-5128

東京都港区浜松町二丁目4番1号

世界貿易センタービルディング南館28階

電話 03-3435-3511

FAX 03-3436-6759

印刷所

勝美印刷株式会社/東京・白山

### ホームページへの掲載のお知らせ

日頃、カヤバ技報をご愛読いただきありがとうございます。第50号(2015年4月発行)から、より多くの方々にご覧いただくことを目的とし、弊社ホームページへの掲載を行っております。是非ご利用下さい。

なお、冊子の発行は従来通り行ないますので、こちらをあわせてご利用下さい。

〈カヤバのホームページアドレス〉

<https://www.kyb.co.jp/>

(トップ画面からカヤバ技報バナーをクリックして下さい)